自立して社会に貢献できる生徒の育成

南中だより

福山市立駅家南中学校
２０２５年(令和７年)
５月２９日（木）NO.2

意見が言える！ルールって何のためにあるの？

５月２６日、生徒集会を行いました。今年度、生徒集会は、生徒会執行部の発表を中心とした形式から、多くの生徒が意見を出し合える対話型の形式へと大きく変わりつつあります。今回の集会も、生徒一人ひとりの「考える力」や「伝える力」を引き出す工夫が、随所に見られました。

今回のテーマは「ルールって何のためにあるの？」。生徒総会に向けた議論の土台づくりとして、３年生の西尾くんと田岡くんが、それぞれ自分の考えを発表しました。

西尾くんは、昨年度の生徒指導規程の見直しに関わった経験をもとに、自由と規則のバランスをとることは難しいこと、誰もが自由を求める一方で、その自由には責任が伴うことを発表しました。その中で、他人に迷惑をかけてはいけないという視点から、当時の学校の状況には、「茶髪禁止」というルールが必要だったことを冷静に振り返っていました。また、ルールは一度決まったら終わりではなく、これからも時代や状況に応じて考え直していくべきであること、改善するためには正当な理由で意見を伝えることが大切であることを全校生徒に伝えました。

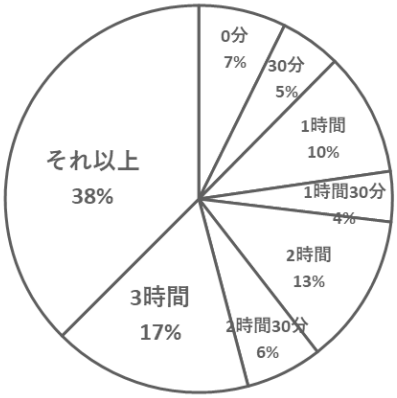
田岡くんは、１年生の頃の反省から、２年生では「当たり前のことを当たり前に頑張る」姿勢が身に付いたこと等、自身の成長について発表しました。周囲の努力や変化を目の当たりにして「このままではいけない」と思ったことが、自分を変える大きなきっかけになった、自分が変わることで、他者から期待や評価を受けるようになったと、実感を込めて話しました。そして、これからも目標を高く持ち、何事にも真剣に取り組んでいきたいと、力強く締めくくりました。

二人の発表をきっかけに、全校生徒から次々と意見が飛び出し、活発な意見交換の場となりました。その後、「学校のルールで大切だと思うこと」について、一人ひとりが付箋に自分の考えを書き出しました。どの生徒も真剣に取り組み、発表者同様、主体的に考える様子が見られました。これらの意見は、生徒会執行部がまとめ、来月の生徒総会での議論に生かしていく予定です。

今回の生徒集会は、非常に意義深いものとなりました。自らの考えを持ち堂々と発言する姿が、大変印象的でした。発表した生徒の勇気は、本当に素晴らしいです。また、全校生徒が協力しながら、安心して意見を言える雰囲気を作りあげていることに、学校全体の成長を感じました。からかいや陰口もなく、変に気を使いすぎることもなく、自由で活発な意見交換ができる空気が広がっていることを大変うれしく思います。授業や学年集会でも同じような様子が見られるようになっており、新しい南中文化が着実に育ちつつあります。

家庭学習とスマホ使用に関するアンケート結果から

＜家庭学習＞



＜スマホやゲーム＞

本年度、本校では、授業の充実と共に、「自己調整学習」の力を育むことにも重点を置いて取り組んでいます。生徒一人ひとりが、自らの学びに主体的に向かい、目標に向かって努力を積み重ねていく姿を応援したいと考えています。

５月初旬に行った「家庭学習とスマホ・メディア利用」に関するアンケート調査では、以下のような特徴が見られました。

- ***家庭学習時間１時間未満の生徒が、７割以上もいる。***
- ***スマホ利用２時間以上の生徒が、７割以上もいる。***

これらの結果から、時間の使い方や優先順位の付け方に課題があることがうかがえます。現代の生活において、スマホ等メディアの利用は欠かせない存在となっていますが、「やりたくても、やってはいけないことがある」「やりたくなくても、やらなければならないことがある」といった自己調整力を身に付けることが、これからの学びや将来に向けて非常に重要です。

昨年度の取組により、「テスト発表期間中には３時間以上の家庭学習が当たり前」という意識が定着してきました。今年度は、そのテストとテストの間の期間にも注目し、日々の学習の積み重ね・習慣化を目指します。

まずは、**「毎日の家庭学習１時間30分」**を目標に取り組んでみましょう。１日は２４時間しかありません。限られた時間で力を付けることができるかどうかは、何にどれだけ時間を使うのかを自分自身でコントロールする力（時間をマネジメントする力）が必要です。この力こそが、将来、夢を実現するための大きな武器になります。年間を通して、一歩ずつ毎日の時間の使い方を改善していきましょう。皆さんの成長を楽しみにしています。

南中を変える地域清掃が「いいね！福山っ子賞」受賞！

５月２０日、福山市教育委員会の小林教育長をお迎えし、「いいね！福山っ子賞」の表彰式を行いました。この賞は、昨年度まで実施されていた「福山元気大賞」に代わるもので、今回の受賞は、一昨年から取り組んできた地域清掃活動に対して贈られたものです。この清掃活動は、当時１年生だった生徒会執行部が中心となり、日程や内容の調整、地域の方々へのお願いなど、すべてを生徒自ら企画・実行しました。その取組が地域の方々から評価され、推薦を受けて受賞となりました。

表彰式では、生徒代表として３年生の細井くんが、「僕たちが１年生の頃、南中は荒れていて、生徒会サミットに参加した際にそのことを他校の生徒から言われ、とても恥ずかしい思いをしました。この現状を変えたいという思いから、地域清掃を始めました。」と発表しました。

２年生の片山くんは、「先輩たちの思いを引き継ぎ、僕たちはより多くの地域の方々と一緒に清掃活動ができるよう工夫を重ねてきました」と発表しました。

皆さんが、これからも南中生としての誇りを持ち、よりよい行動をとっていくことを期待しています。頑張っていきましょう。